

## KnowledgeSh@re その他の機能

その他にも、KnowledgeSh@reにはマニュアル制作40年のノウハウを凝縮した機能が搭載されています。KnowledgeSh@reは、豊富な機能で、お客さまのマニュアル作成・管理をご支援します。

### データの マルチ出力・ 人工知能組版

KnowledgeSh@reで作成したマニュアルは、HTMLやPDFなどのファイル形式でダウンロードできるので、イントラ環境に転載したり、オフライン環境で利用したりすることもできます。印刷物が必要な場合は、人工知能組版で、プロ仕様の印刷用版下を作成することもできます。

### Microsoft Word 連携 (オプション)

KnowledgeSh@reに、Microsoft Wordで作成したデータを簡単に取り込みます。既存マニュアルのデータ資産を有効活用できるので、ムダがありません。

### ログ参照 (管理機能)

マニュアルごとのアクセス時間、参照者、マニュアルの参照箇所などのデータを集約し、一覧に表示したりCSVに出力したりすることができます。アクセスログを取得して、マニュアルの課題を見える化することで、改善サイクルを回すきっかけとなります。

### カテゴリ権限設定 (管理機能)

部署別、プロジェクト別などの単位で、マニュアルを管理することができます。これによって、マニュアル作成者やマニュアル利用者ごとに、扱えるマニュアルを制御することができます。

## セキュリティ対策

KnowledgeSh@reは、富士通クラウド「FUJITSU Cloud Service for OSS」を基盤としています。富士通クラウドは、富士通グループの厳しい審査を通過した万全のセキュリティ対策により、高い信頼性・可用性・保守性・保全性・安全性を兼ね備えています。

富士通クラウドの詳細は、Webサイトをご覧ください。 <https://jp.fujitsu.com/solutions/cloud/>

### 商標一覧

- ・ Microsoft、Microsoft Word、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Adobe、Adobeロゴ、およびAcrobatは、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- ・ KnowledgeSh@reは、株式会社富士通ラーニングメディアの登録商標です。
- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ・ 記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示 ((R)、TM) を付記していません。

### 製品・サービスについてのお問い合わせは

お客様総合センター

**0120-55-9019**

受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝祭日を除く)

株式会社富士通ラーニングメディア 〒108-0075 東京都港区港南2-13-34 NSS-IIビル

<https://www.knowledgewing.com/>

Copyright 2020 FUJITSU LEARNING MEDIA LIMITED

Q2010012  
有効期限2021年3月

FUJITSU

## FUJITSU 人材育成・研修サービス マニュアル作成・共有プラットフォーム KnowledgeSh@re (ナレッジシェア)



KnowledgeSh@reは、  
ノウハウのマニュアル化で人と業務を成長させる  
クラウド型のマニュアル作成・共有プラットフォームです。

SaaS形式でのサービス提供につき、予告なく機能・サービスを変更することがあります。

KnowledgeSh@reは富士通ラーニングメディアの登録商標です。

最新の情報は、Webサイトをご覧ください。 <https://www.knowledgewing.com/kcc/share/>

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

# KnowledgeSh@re はお客さまの「成長のスパイラル」をサポートします。

マニュアルを効率的に作成・管理する **つくる** 機能と、現場のナレッジ定着・共有を促進する **みる** 機能を搭載。業務の見える化はもちろん、現場の人材育成や業務効率化・品質向上に貢献します。

マニュアル作成・管理を効率化する

## KnowledgeSh@re 「つくる」

### ナレッジの集約



### ナレッジの収集

#### 現場の声を収集・反映

利用者のコメントを収集し、コメントごとに内容を精査して、マニュアルへの反映要否を検討できます。反映するコメントが該当箇所に自動転記されるので、マニュアルを修正する際に効率よく取り込むことができます。

現場のナレッジ定着・共有を促進する

## KnowledgeSh@re 「みる」

### ナレッジの習得



### ナレッジの共有

#### 個人の気づきを共有

現場での気づきや作成者への質問・意見などを、利用者がマニュアルの該当箇所にコメントできます。利用者の声を記録していくことで、マニュアルを一方通行の伝達手段にせず、業務そのものをより良く改善するツールとして活用できます。

#### 本格マニュアルを手軽に作成

直感的な操作で、本格的なマニュアルを簡単に作成できます。ページレイアウト設定や文字修飾などは不要、ブラウザの編集画面で文字を入力したり項目を選んだりするだけなので、原稿作成に専念できます。

#### クラウドで作成を効率化

クラウドなので、作成者が遠隔地に分散していても、共同でマニュアルを作成できます。マスターデータも、クラウドで一元管理されているので、最新データに迷わずアクセスでき、マスターデータの紛失や取り違えを防止できます。

#### レビューの効率化

複数の関係者がマニュアルに同時アクセスし、並行してレビューを進めることができます。レビュー結果が一元管理されるので、取りまとめは不要。レビュー担当者は、他者のコメントを参照することもできます。

もっと本格的! さらに効率的!

### KnowledgeSh@re 「つくる」の便利な機能

#### 履歴管理 新旧対比表の作成

マニュアルに掲載している文・図・表などは部品として管理されており、修正時は部品ごとに修正履歴が記録されます。いつ・誰が・どのように修正したのかがわかり、元に戻すこともできます。また、世代間の差分を自動抽出して修正箇所の一覧を作成できるので、前の版からの変更箇所を簡単に確認できます。

#### 共通部品化

複数のマニュアルに共通して掲載する文書・文・図・表などを、共通部品化することができます。修正時は共通部品のみを修正することで、すべての掲載箇所に反映されるので、効率よくマニュアルを修正・管理できます。

#### 目的別 マニュアル作成

部品として管理されている文書・文・図・表などは、それぞれを組み合わせ、特定のユーザーに必要な情報だけを絞り込むなど、目的に合わせた個別コンテンツを作成できます。見出し番号やリンクは、部品の組み合わせに応じて自動更新されるので、確認・編集の手間は不要です。

#### いつでもどこでも見られる

スマートデバイスやパソコンで閲覧できるので、場所を選ばず、必要な情報をすぐに参照できます。更新内容はマニュアルに直ちに反映され、利用者側での差替などは不要なので、常に最新の情報を閲覧できます。

#### 視覚的でわかりやすい

動画や写真などを組み込めるので、ぱっと見て理解しやすいマニュアルを作成できます。文字だけではわかりにくい、動作を伴う作業の説明も、動画で手順を確認して、迅速・正確に業務を遂行できます。

#### 対話機能による業務定着

複数の選択肢から1つを選ぶ、回答を記述するなど、利用者の理解を確認するためのチェックボックスやラジオボタンなどをマニュアル内に設定できます。利用者は、業務の理解・定着状況を確認しながら、自律的に学習を進めることができます。